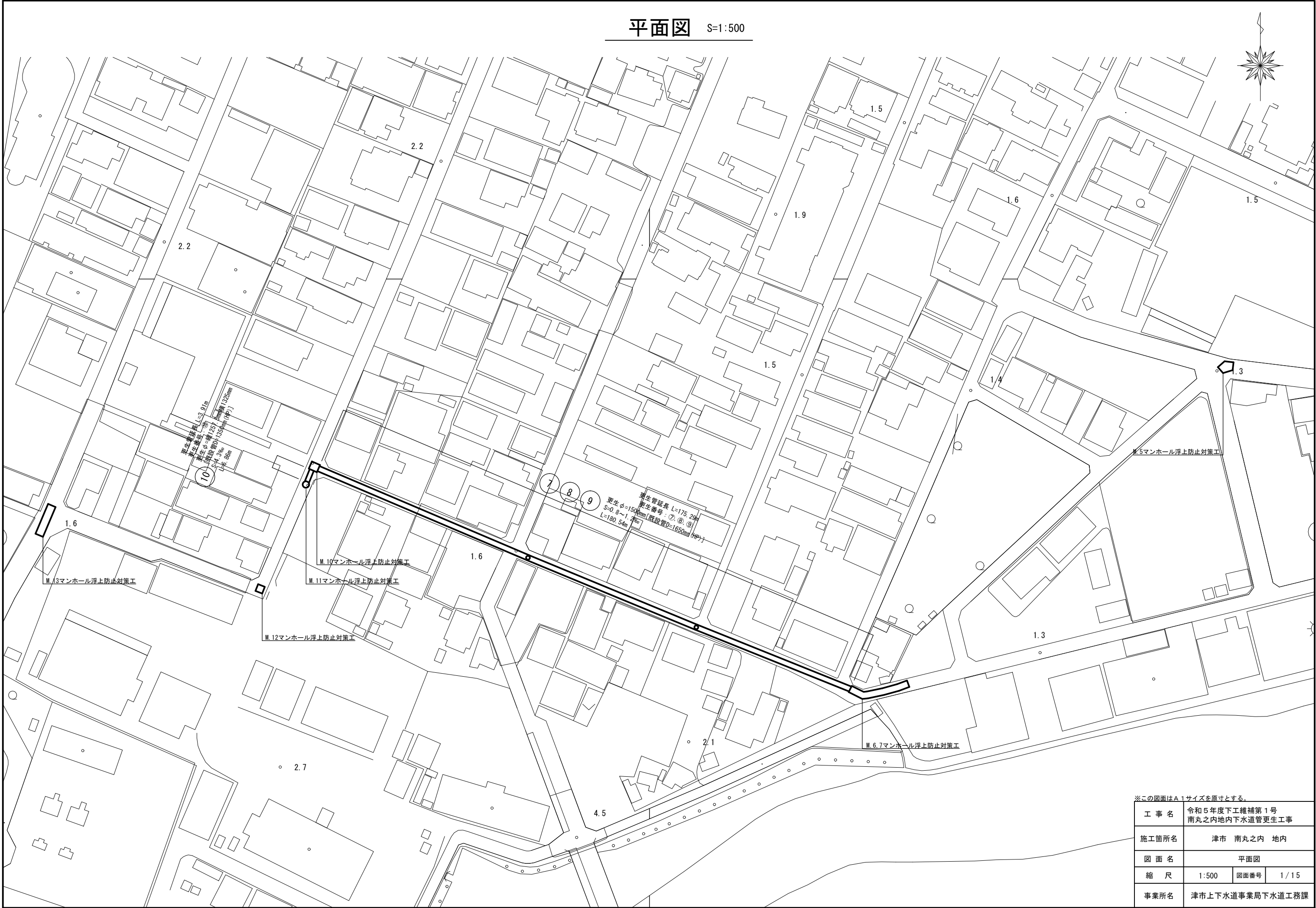


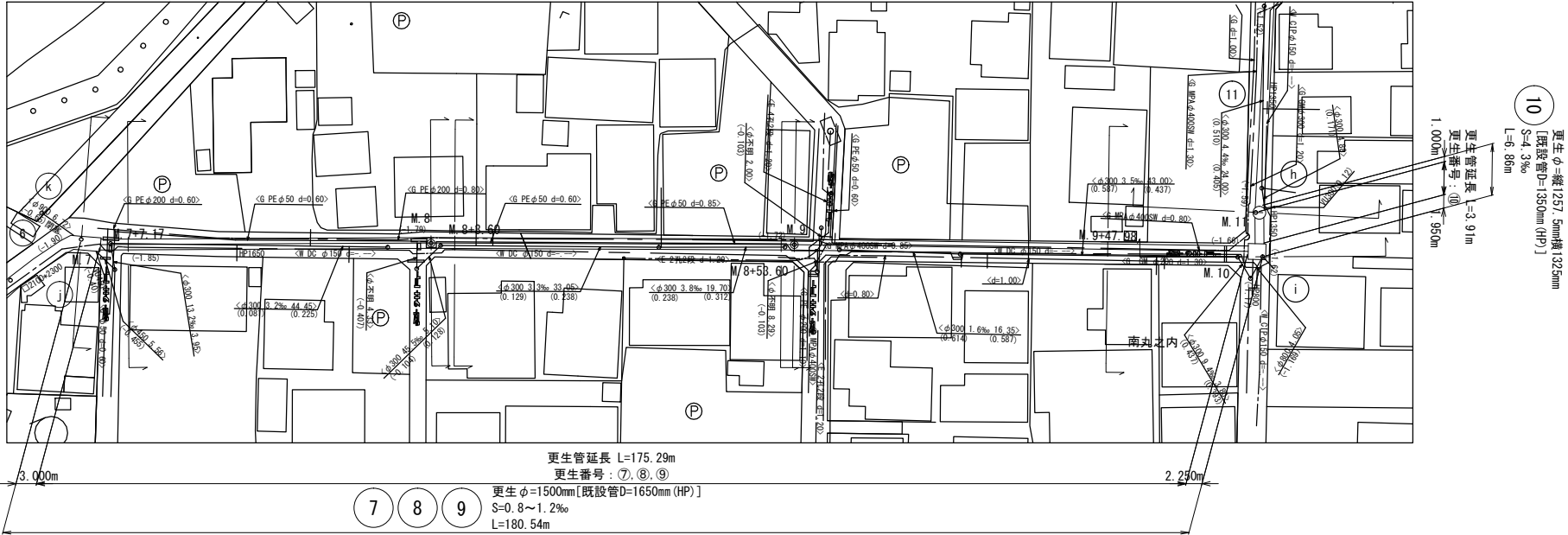
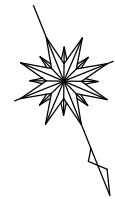
平面図 S=1:500



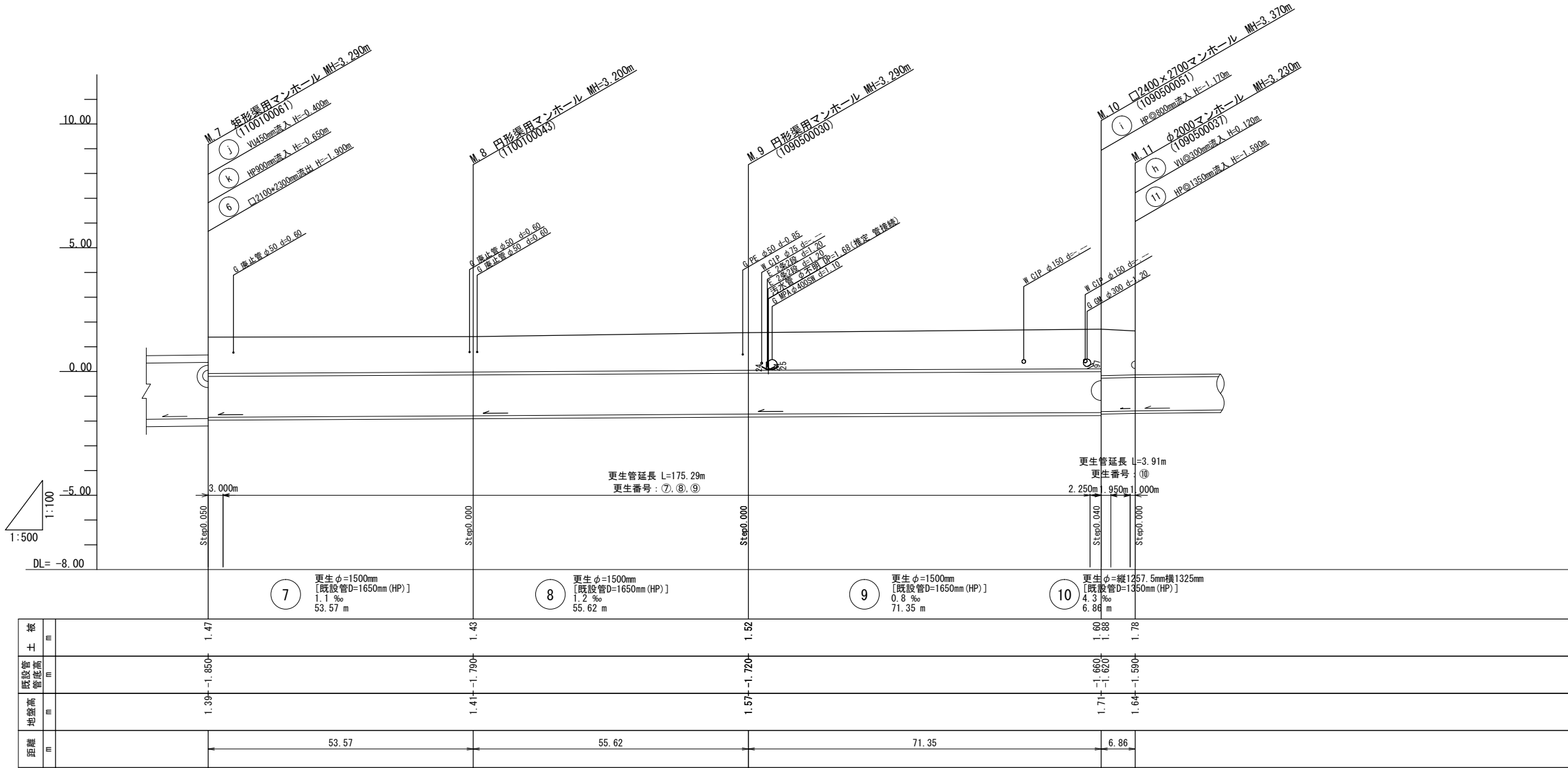
※この図面はA1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和5年度下工維持第1号 南丸之内地内下水道管更生工事		
施工箇所名	津市 南丸之内 地内		
図 面 名	平面図		
縮 尺	1:500	図面番号	1/15
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課		

平面図 S=1:500

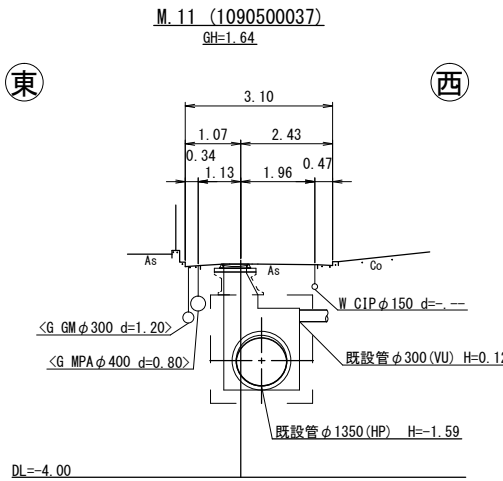
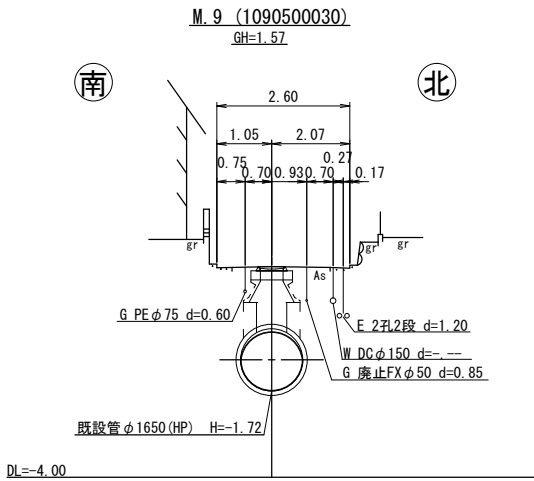
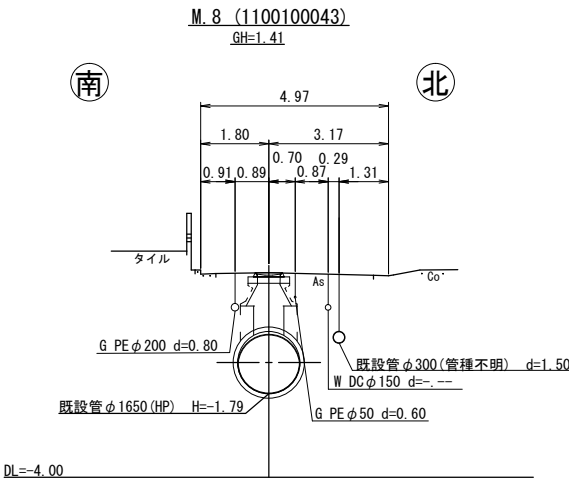
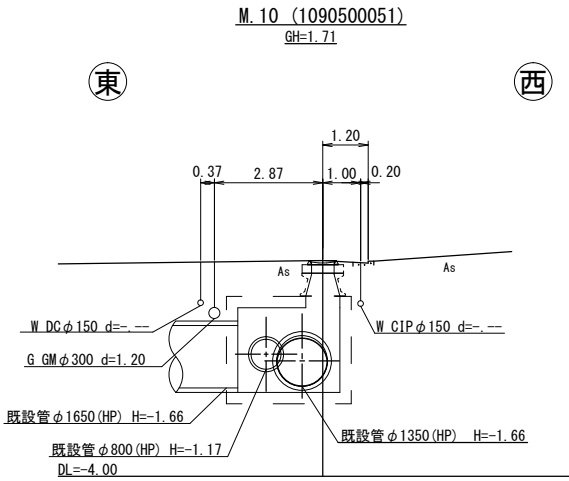
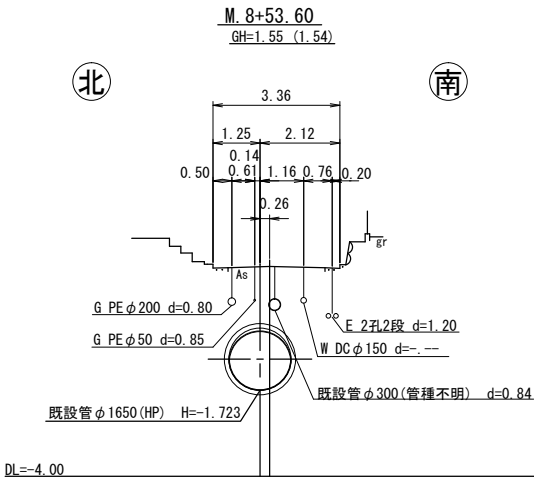
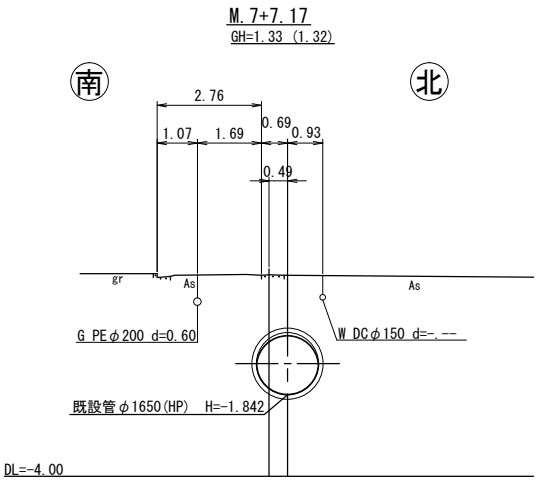
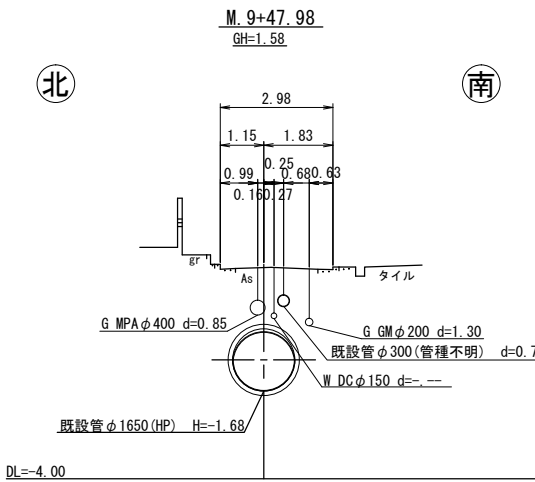
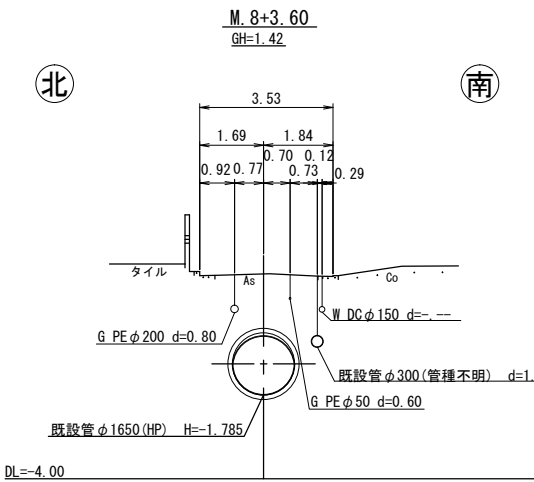
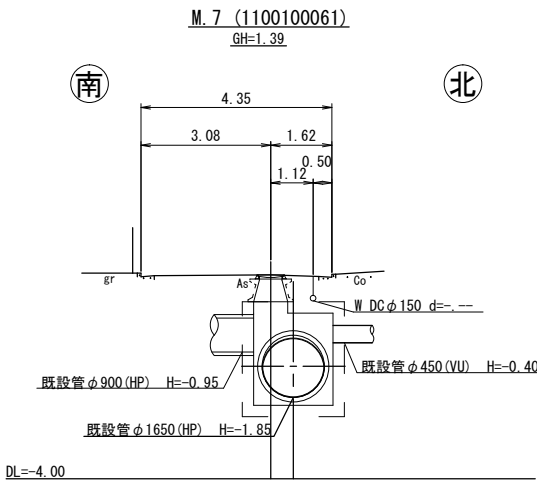


縦断面図 V=1:100
H=1:500



※この図面はA 1 サイズを原寸とする。			
更生番号	7	8	9 10
工 事 名	令和5年度下工維持第1号 南丸之内地内下水道管更生工事		
施工箇所名	津市 南丸之内 地内		
図 面 名	平面図 縦断面図		
縮 尺	1:100 1:500	図面番号	2 / 15
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課		

横断面図 S=1:100



※この図面はA 1サイズを原寸とする。

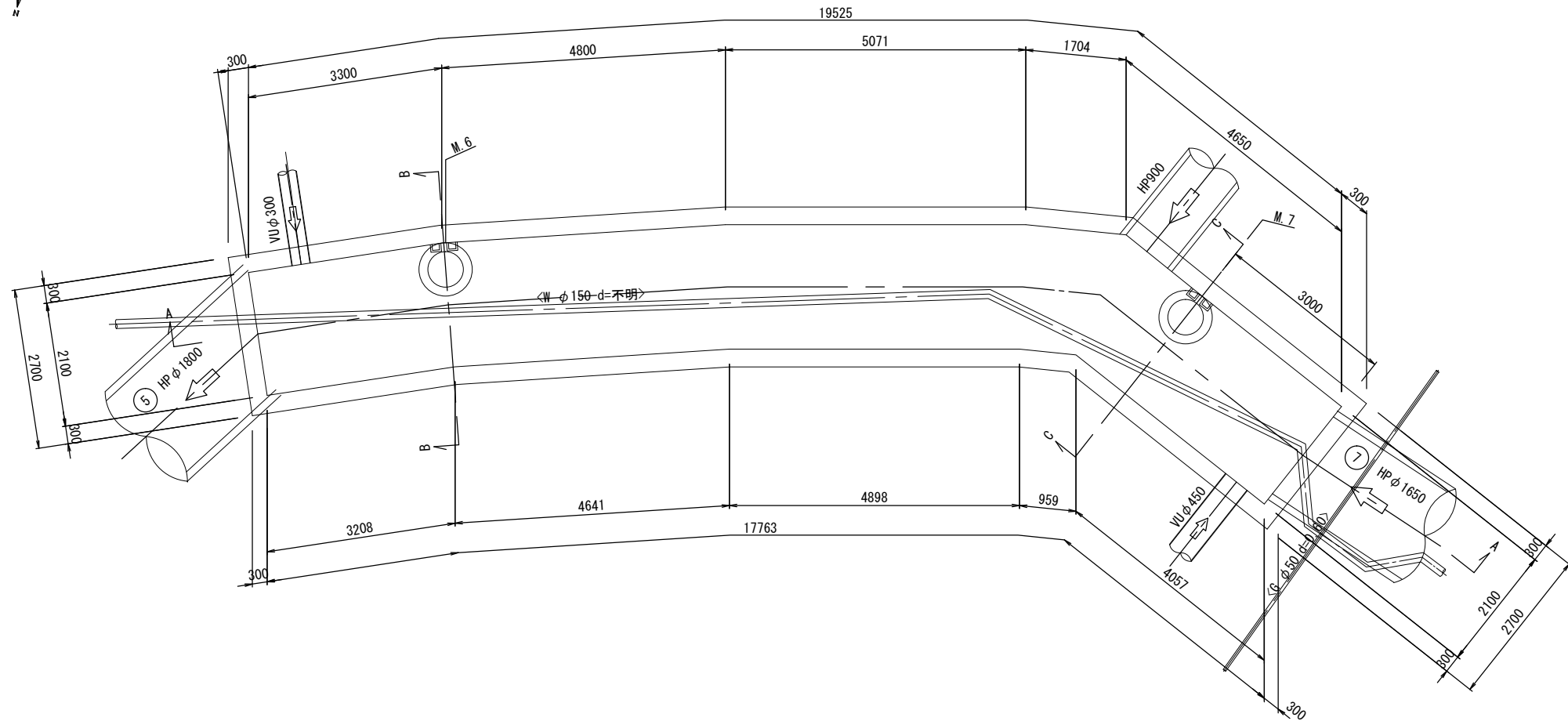
更生番号	7 8 9 10			
工 事 名	令和5年度下工維持補第1号 南丸之内地下下水道管更生工事			
施工箇所名	津市 南丸之内 地内			
図 面 名	横断面図			
縮 尺	1:100	図面番号	3/15	
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課			

既設マンホール構造図(1)

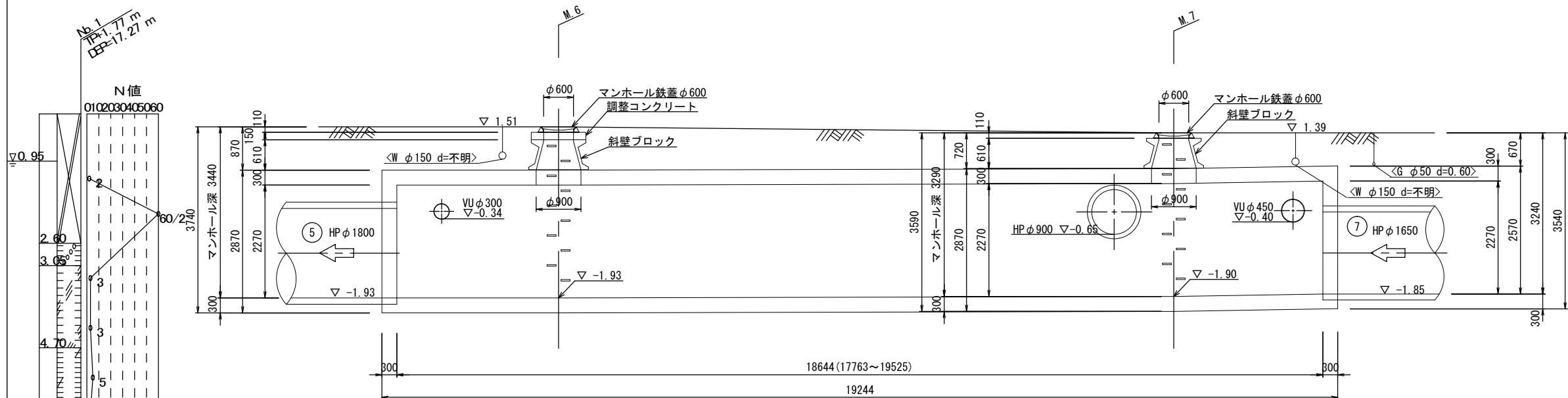
[マンホール番号：M. 6, M. 7]

S=1:50

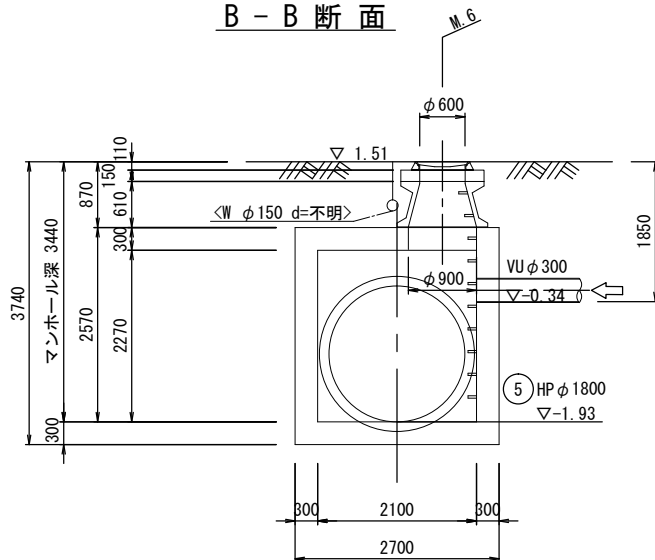
平面図



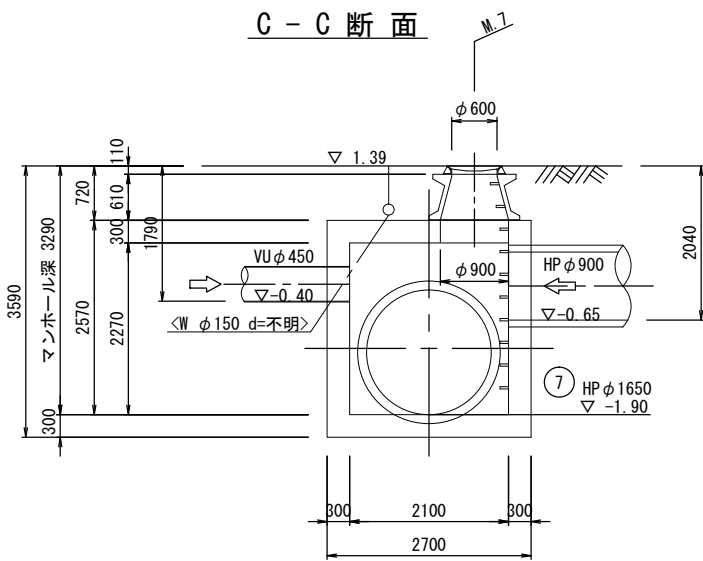
A - A 断面



B - B 断面



C - C 断面

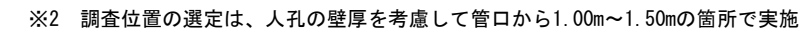
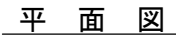


※側壁及び底版厚は、頂版厚と同等と推定する。

※この図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和5年度下工維持第1号 南丸之内地下下水道管更生工事		
施工箇所名	津市 南丸之内 地内		
図面名	既設人孔構造図(1)		
縮尺	1:30	図面番号	4/15
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課		

S=1:30



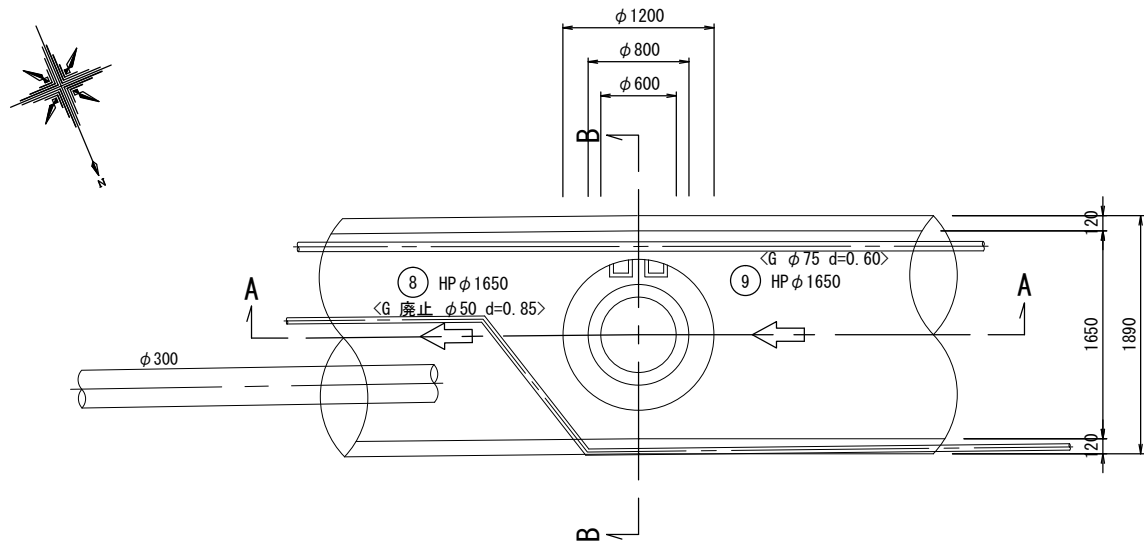
工 事 名	令和5年度下水道維補第1号 南丸之内地区下水道管更生工事		
施工箇所名	津市 南丸之内 地内		
図 面 名	既設人孔構造図(2)		
縮 尺	1:30	図面番号	5/15
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課		

既設マンホール構造図(3)

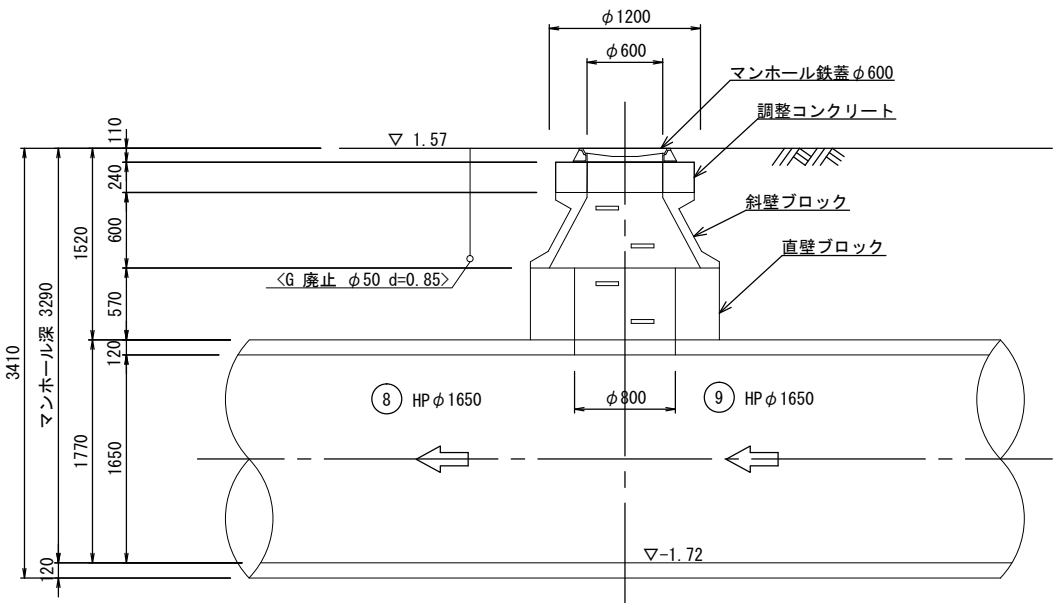
[マンホール番号：M. 9]

S=1:30

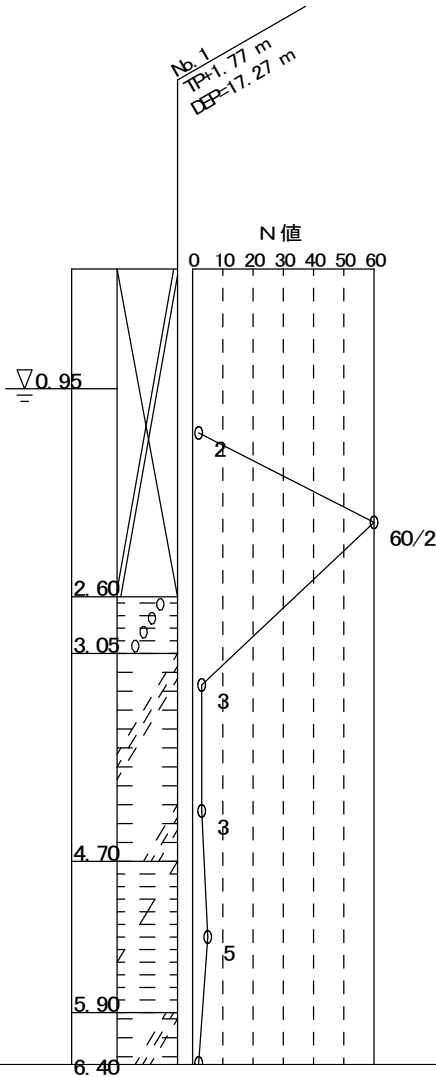
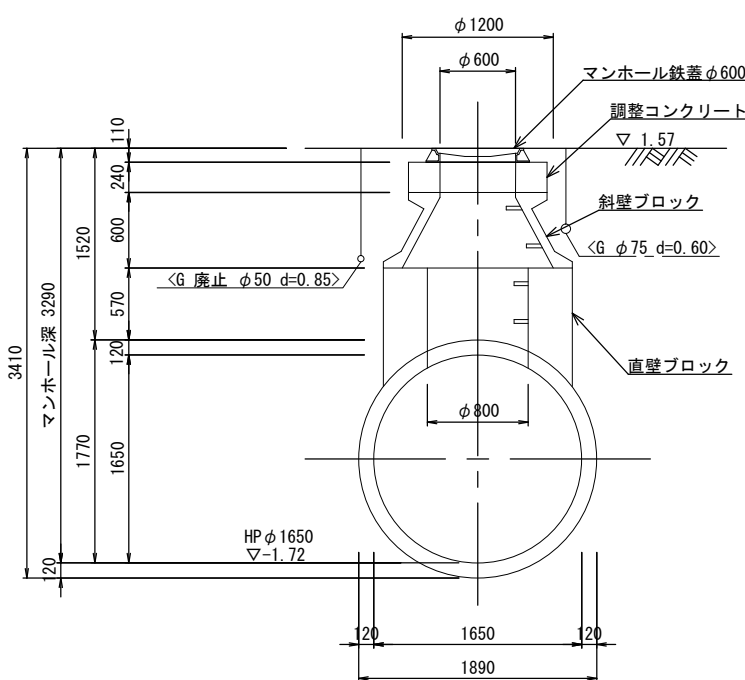
平 面 図



A - A 断面



B - B 断面



※この図面はA1サイズを原寸とする。

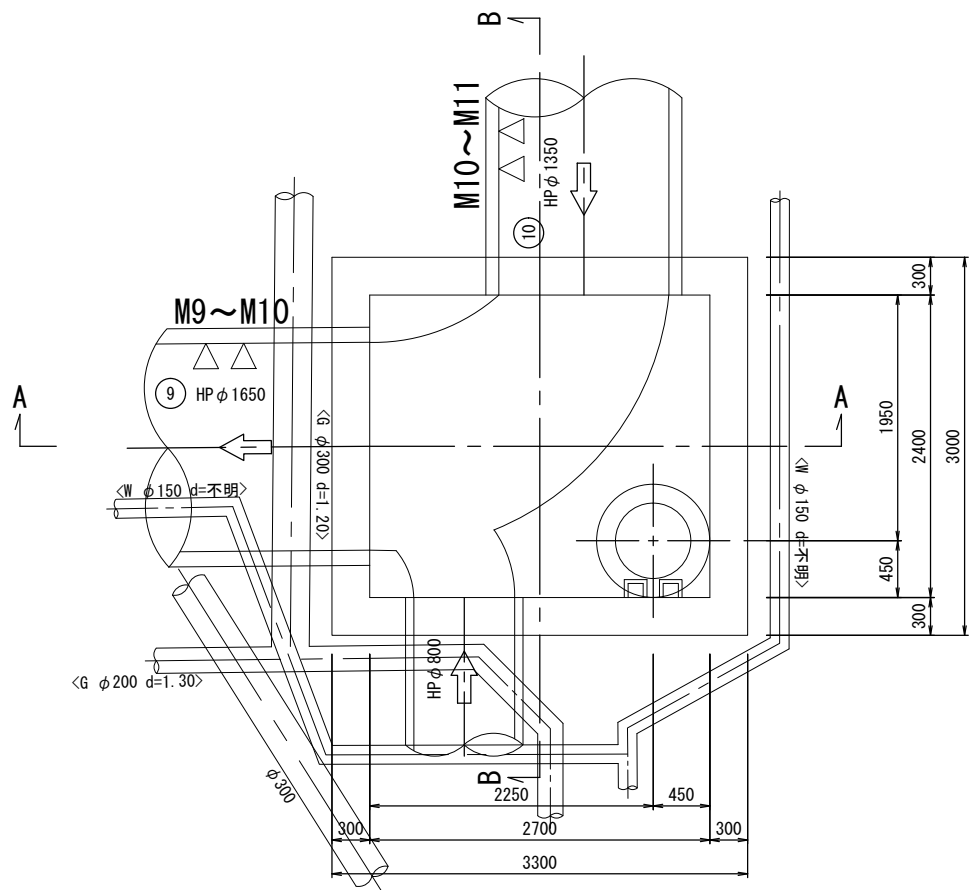
工 事 名	令和5年度下工維持第1号 南丸之内地下下水道管更生工事		
施工箇所名	津市 南丸之内 地内		
図 面 名	既設人孔構造図(3)		
縮 尺	1:30	図面番号	6/15
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課		

既設マンホール構造図(4)

[マンホール番号：M. 10]

S=1:30

平面図



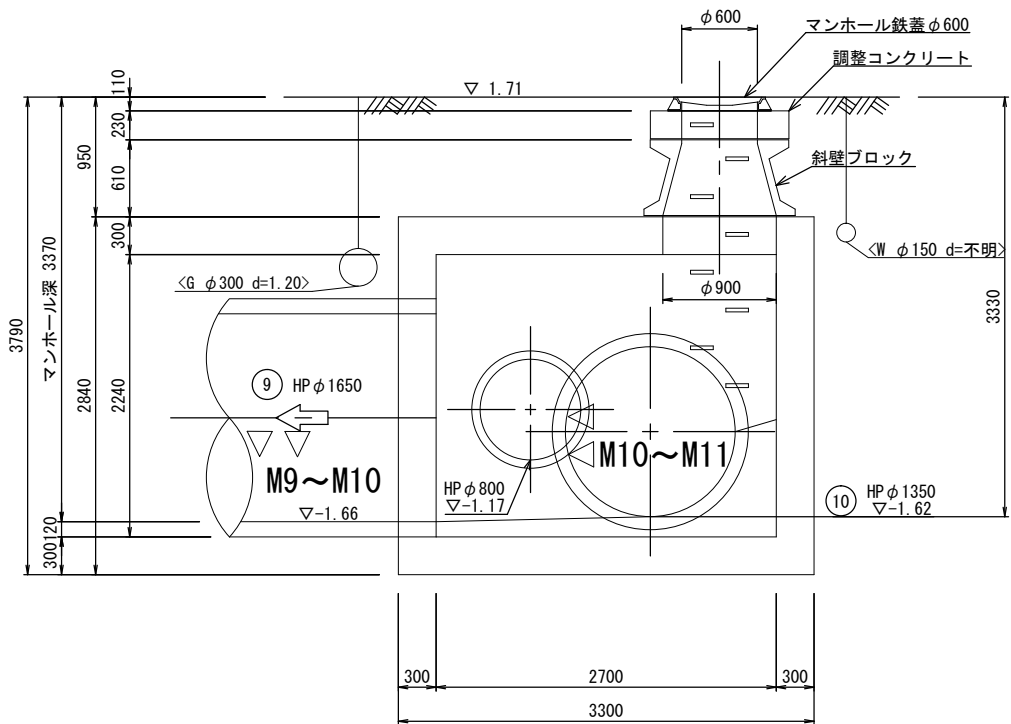
△：コア採取

△：はつり

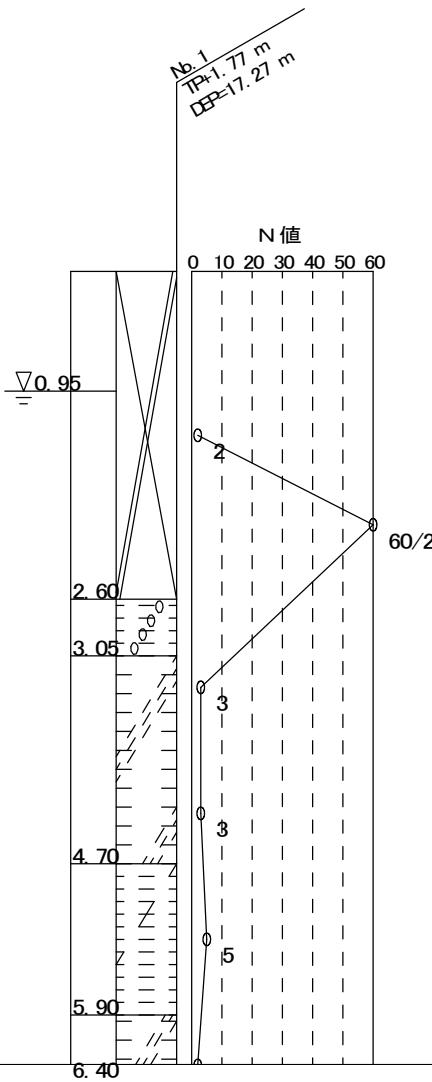
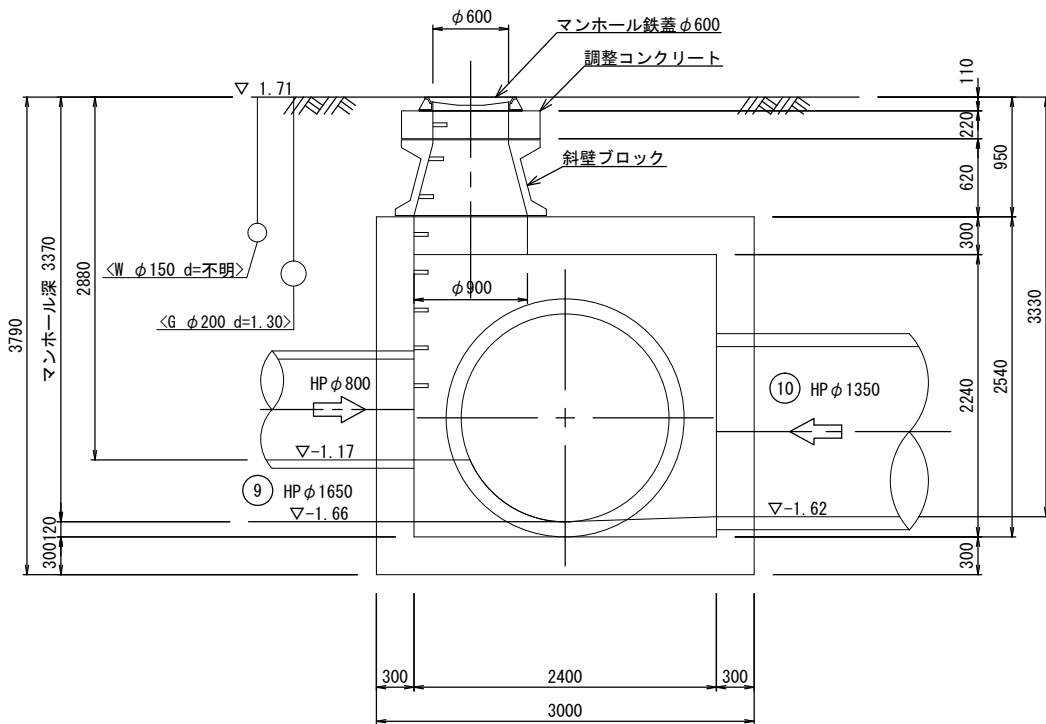
※1 鉄筋採取を採取している箇所は、はつりと同位置で実施

※2 調査位置の選定は、人孔の壁厚を考慮して管口から1.00m~1.50mの箇所を実施

A - A 断面



B - B 断面



※側壁及び底版厚は、頂版厚と同等と推定する。

※この図面はA1サイズを原寸とする。

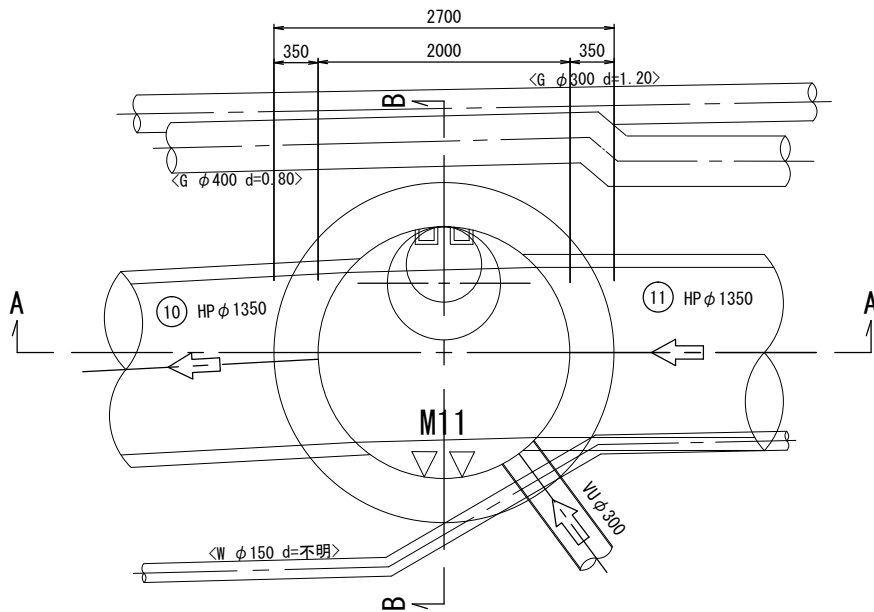
工事名	令和5年度下工維持第1号 南丸之内地下下水道管更生工事		
施工箇所名	津市 南丸之内 地内		
図面名	既設人孔構造図(4)		
縮尺	1:30	図面番号	7/15
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課		

既設マンホール構造図(5)

[マンホール番号：M.11]

S=1:30

平面図



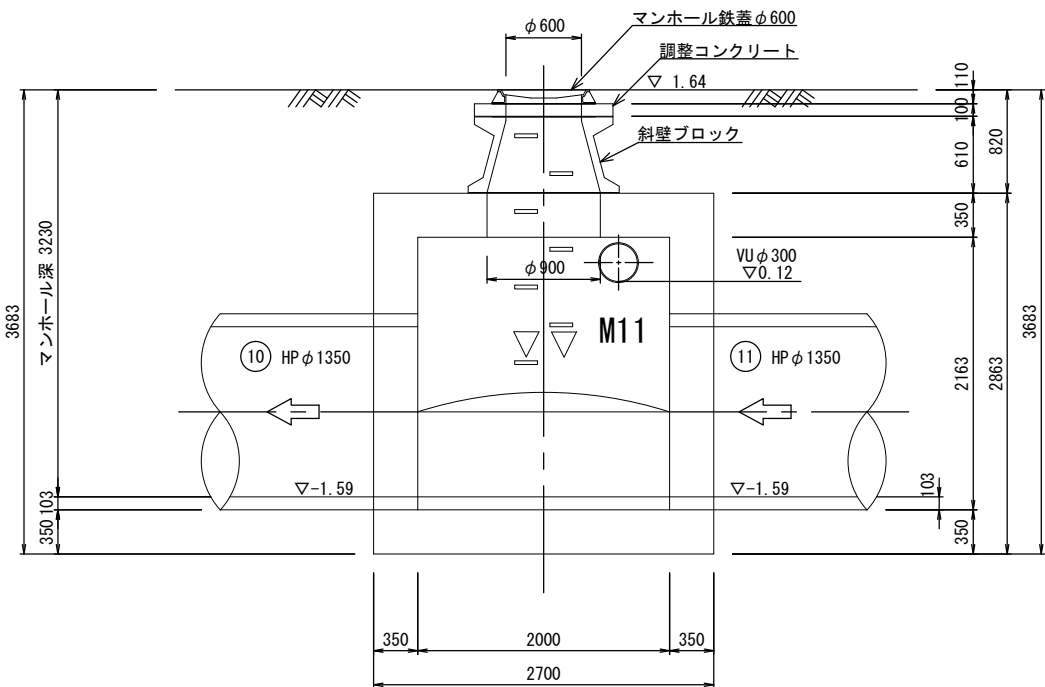
△：コア採取

△：はつり

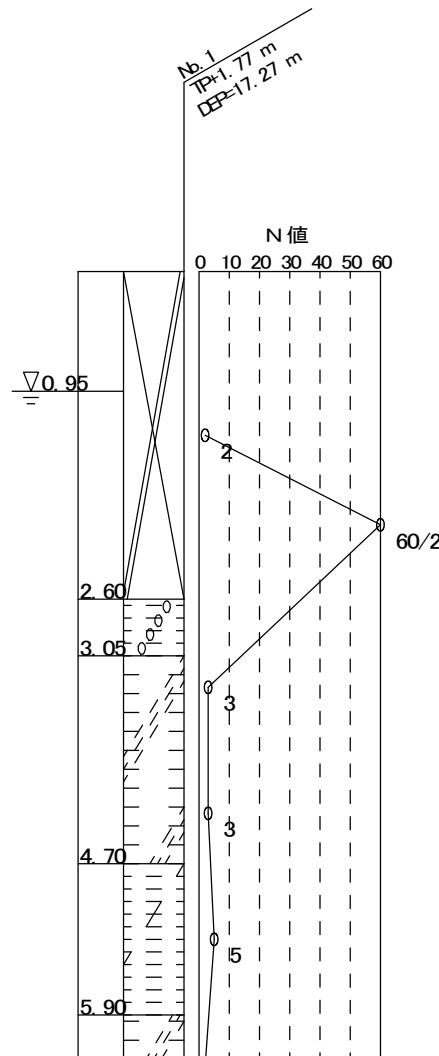
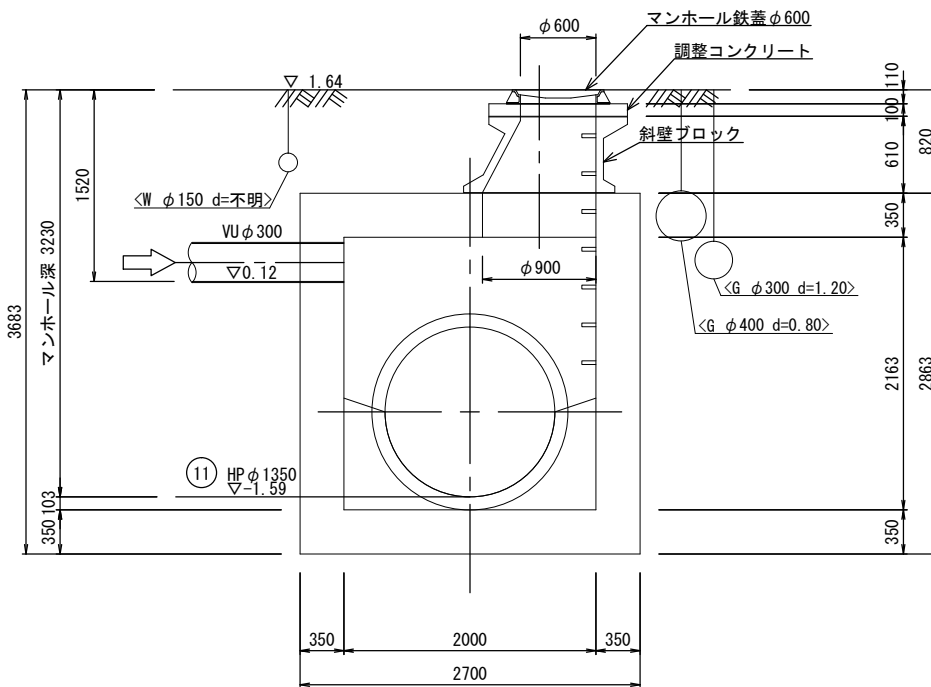
※1 鉄筋採取を採取している箇所は、はつりと同位置で実施

※2 調査位置の選定は、人孔の壁厚を考慮して管口から1.00m～1.50mの箇所で行う

A-A断面



B-B断面



※側壁及び底版厚は、頂版厚と同等と推定する。

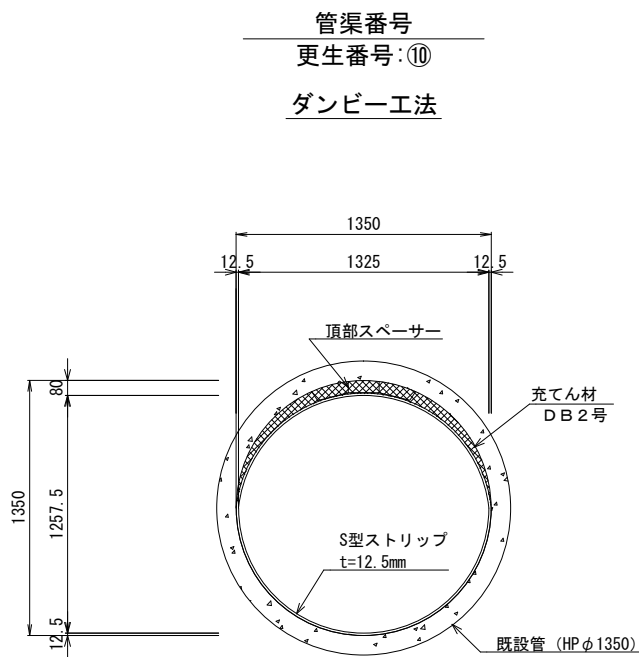
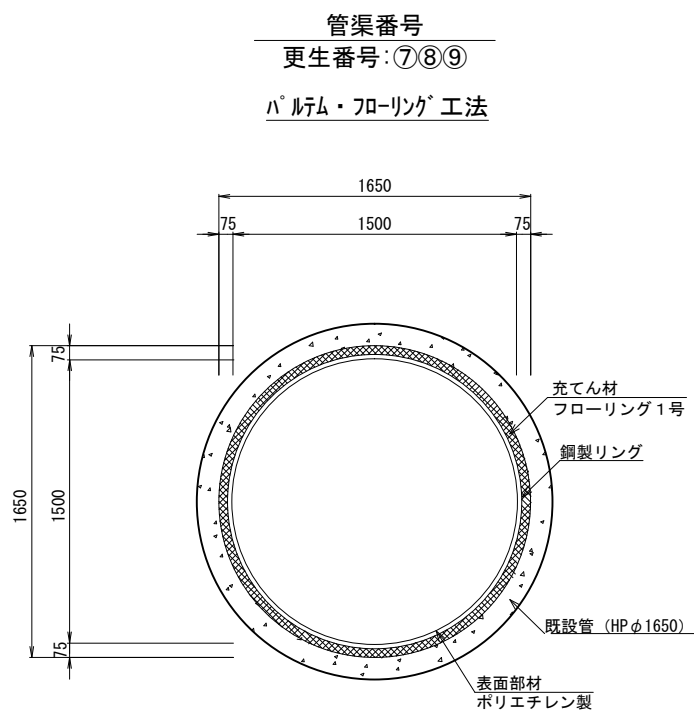
※この図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和5年度下工維持第1号 南丸之内地下下水道管更生工事		
施工箇所名	津市 南丸之内 地内		
図面名	既設人孔構造図(5)		
縮尺	1:30	図面番号	8/15
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課		

複合管更生断面図

S=1:20

【参考図】



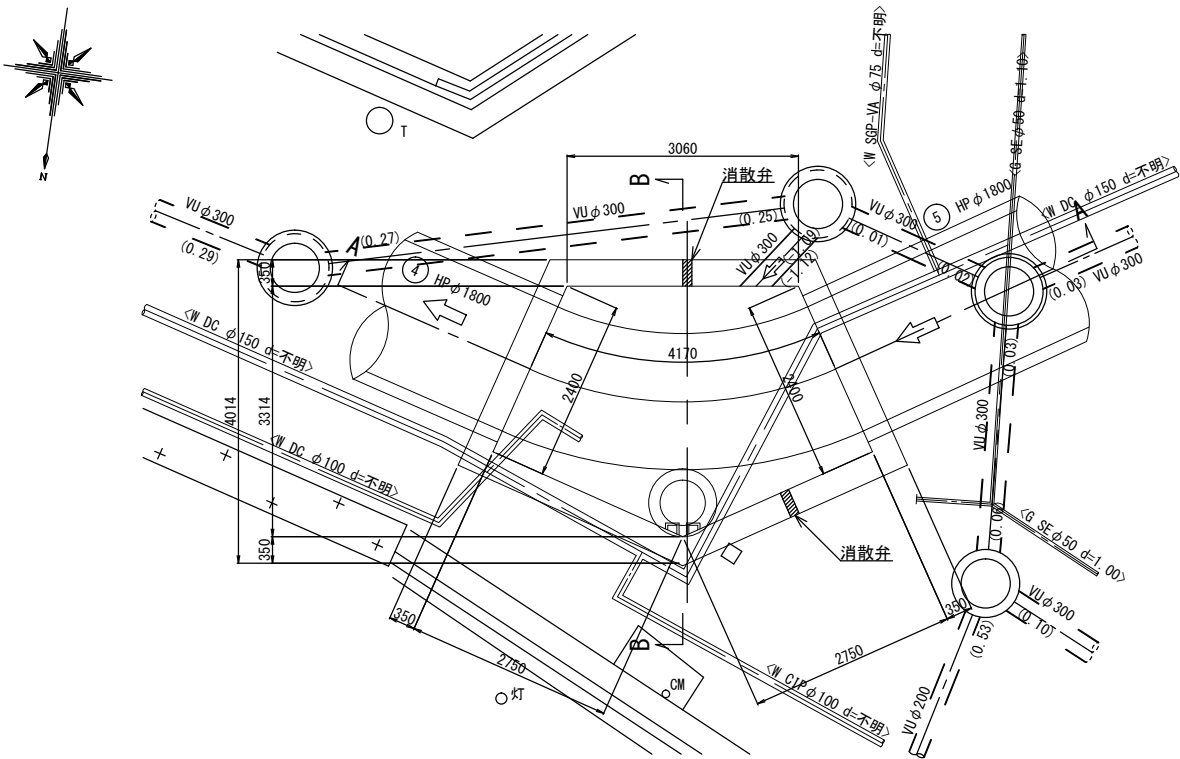
※この図面はA1サイズを原寸とする。

工 事 名	令和5年度下工維持補第1号 南丸之内地内下水道管更生工事		
施工箇所名	津市 南丸之内 地内		
図 面 名	複合管更生断面図		
縮 尺	1:20	図面番号	9/15
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課		

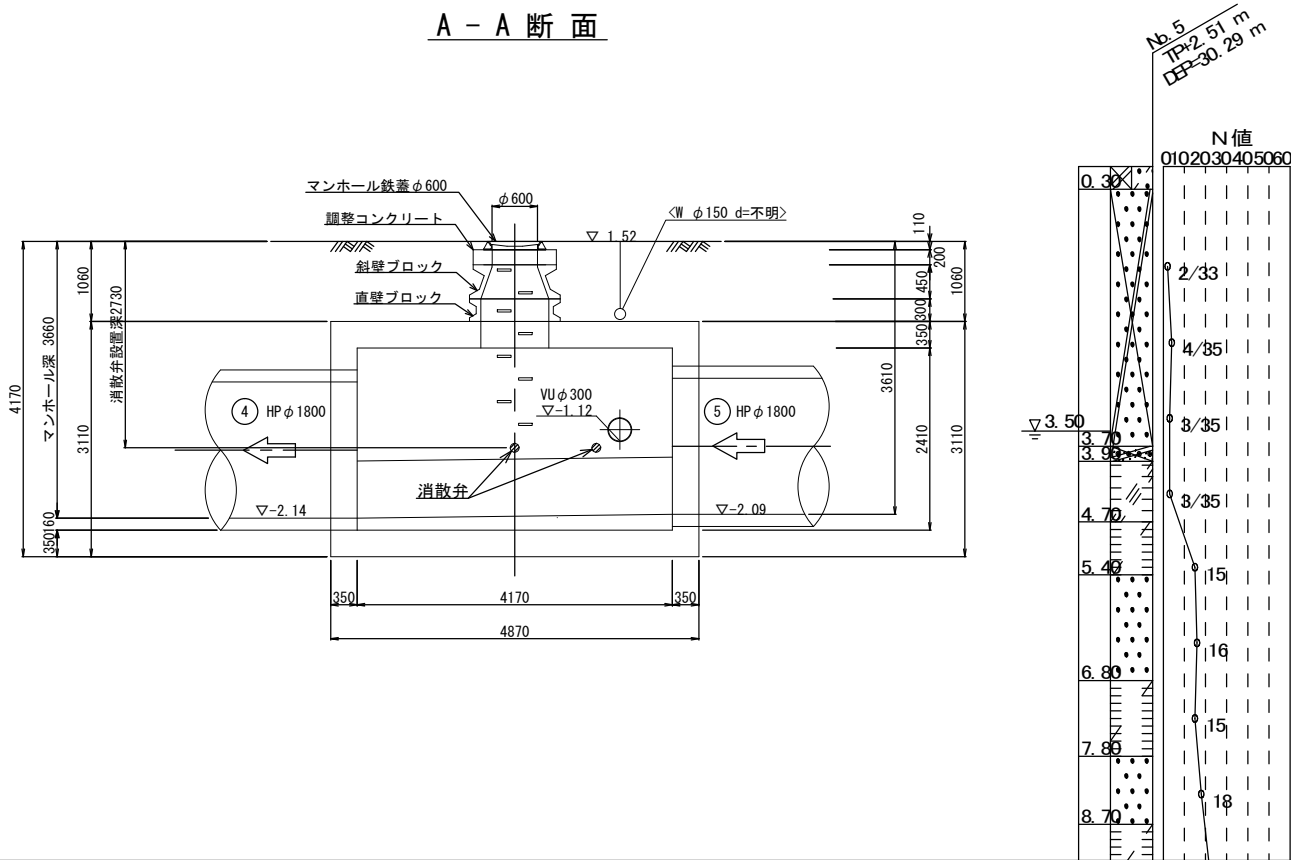
M.5 マンホール浮上防止対策工法詳細図

S=1:50

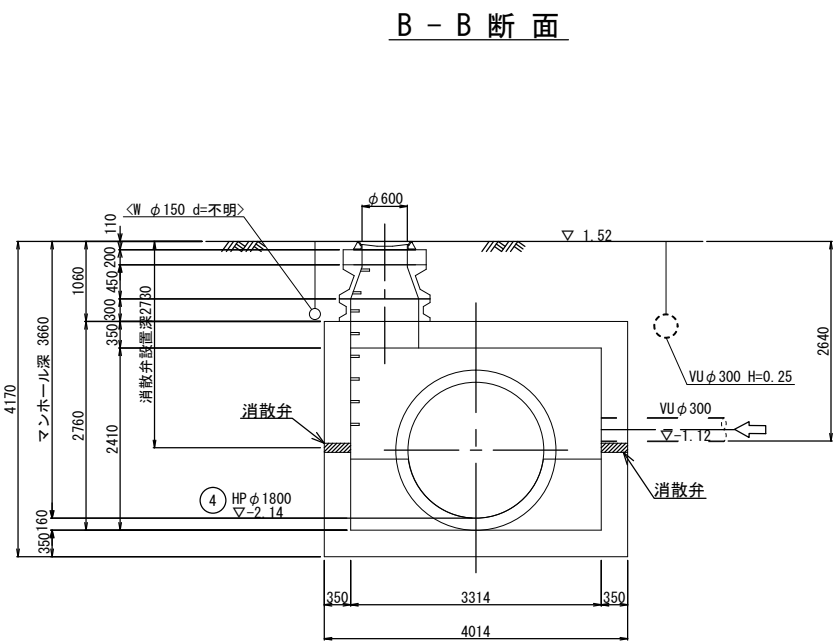
平面図



A-A断面



B-B断面



【消散弁設置の留意事項】

1. 非開削による既設人孔耐震化工法が既に施工されている人孔、あるいは、将来施工が計画されている人孔については、管外径+30cmを確保する。
2. 消散弁の1段目はインバート上部+15cmとする。
3. 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、担当者と協議する。
4. 消散弁は壁面に対し直角に設置する。

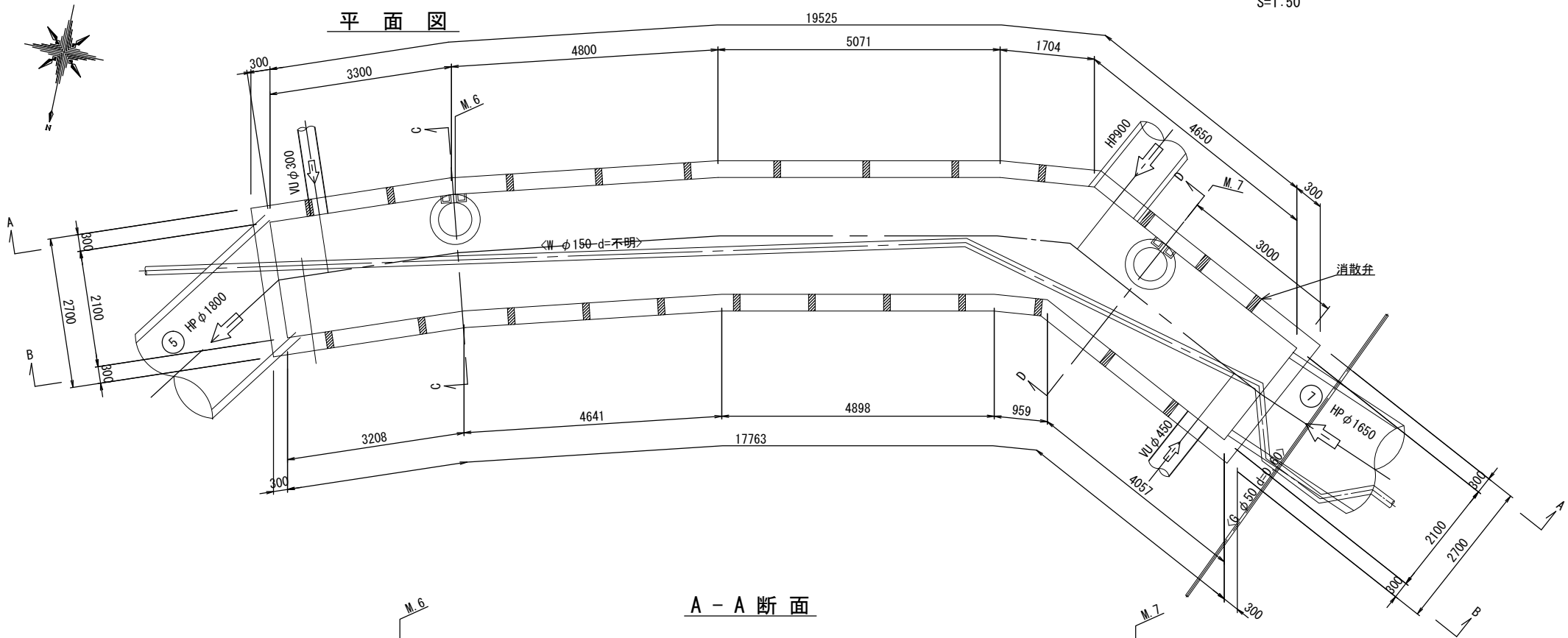
※この図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和5年度下工維持第1号 南丸之内地内下水道管更生工事		
施工箇所名	津市 南丸之内 地内		
図面名	M.5 マンホール 浮上防止対策工法詳細図		
縮尺	1:50	図面番号	10/15
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課		

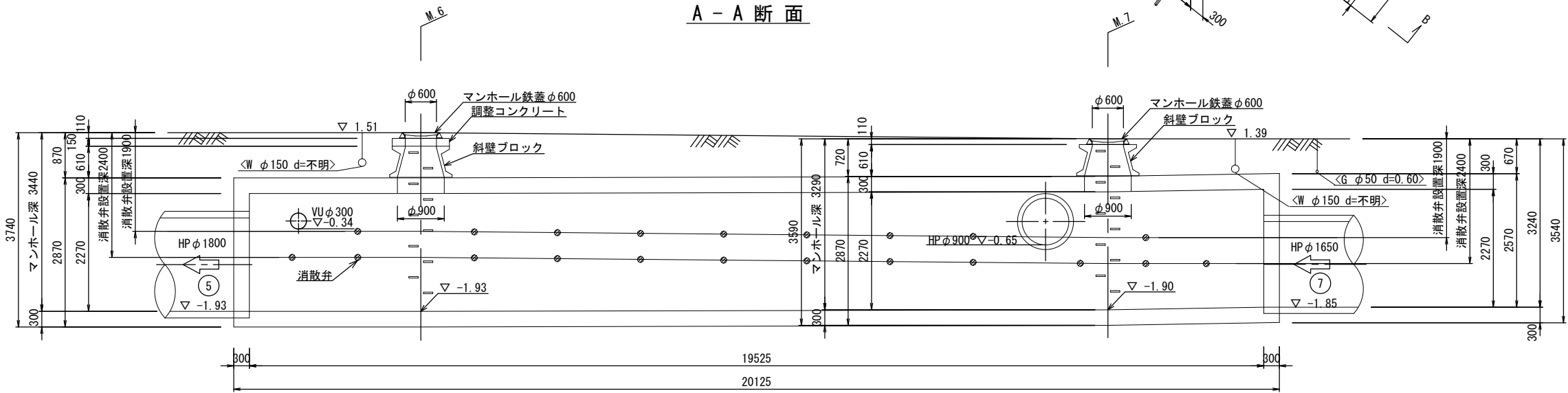
M. 6, M. 7 マンホール浮上防止対策工法詳細図

S=1:50

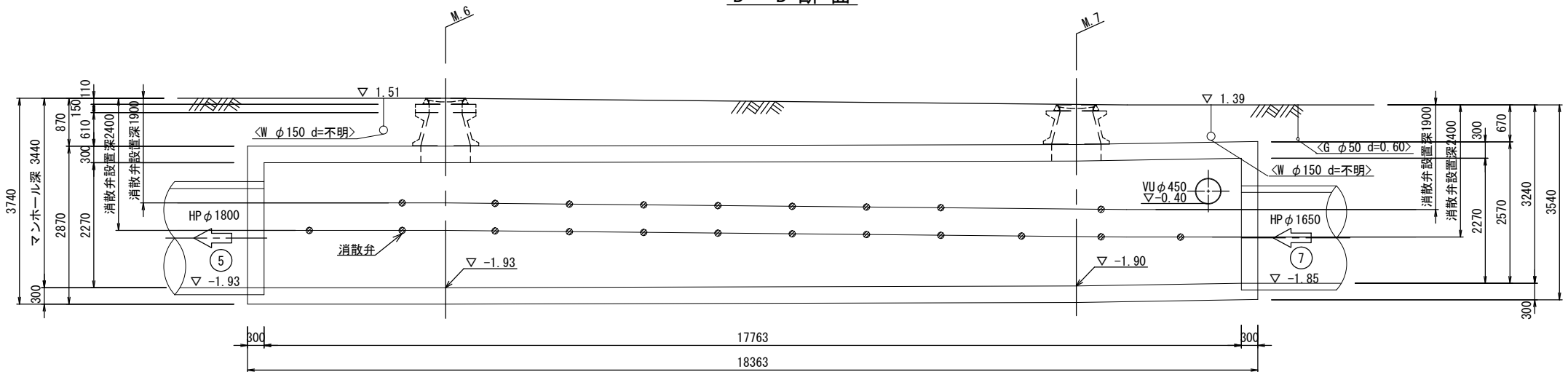
平面図



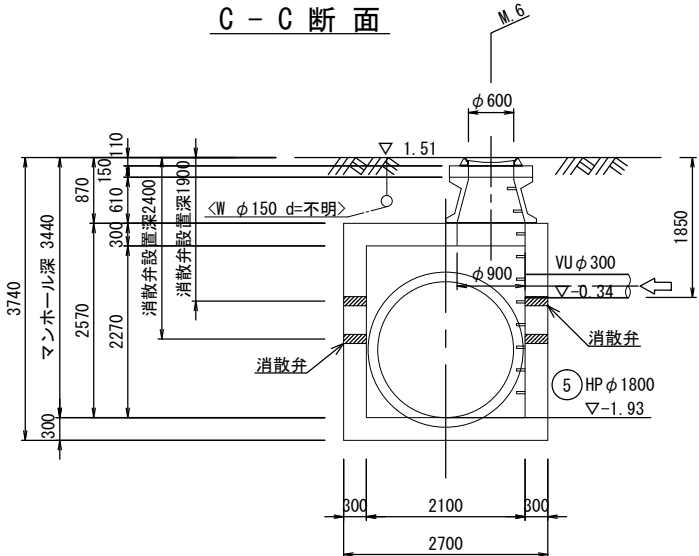
A - A 断面



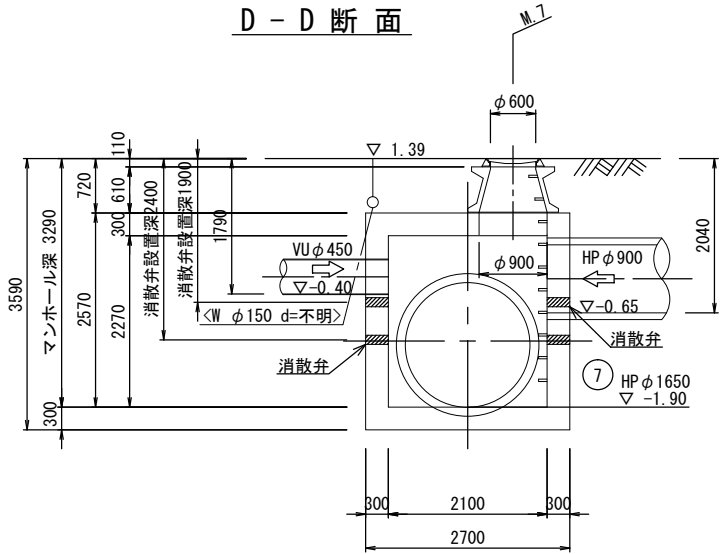
B - B 断面



C - C 断面

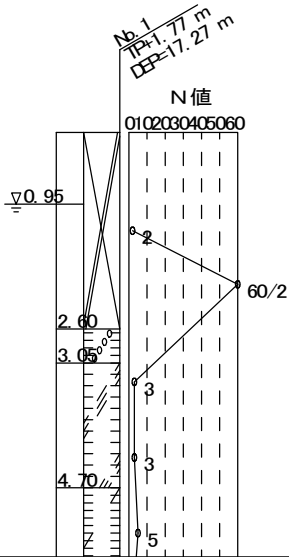


D - D 断面



【消散弁設置の留意事項】

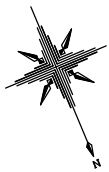
1. 非開削による既設人孔耐震化工法が既に施工されている人孔、あるいは、将来施工が計画されている人孔については、管外径+30cmを確保する。
2. 消散弁の1段目はインバート上部+15cmとする。
3. 消散弁2段目は、下段消散弁位置+50cmとする。
4. 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、担当者と協議する。
5. 消散弁は壁面に対し直角に設置する。



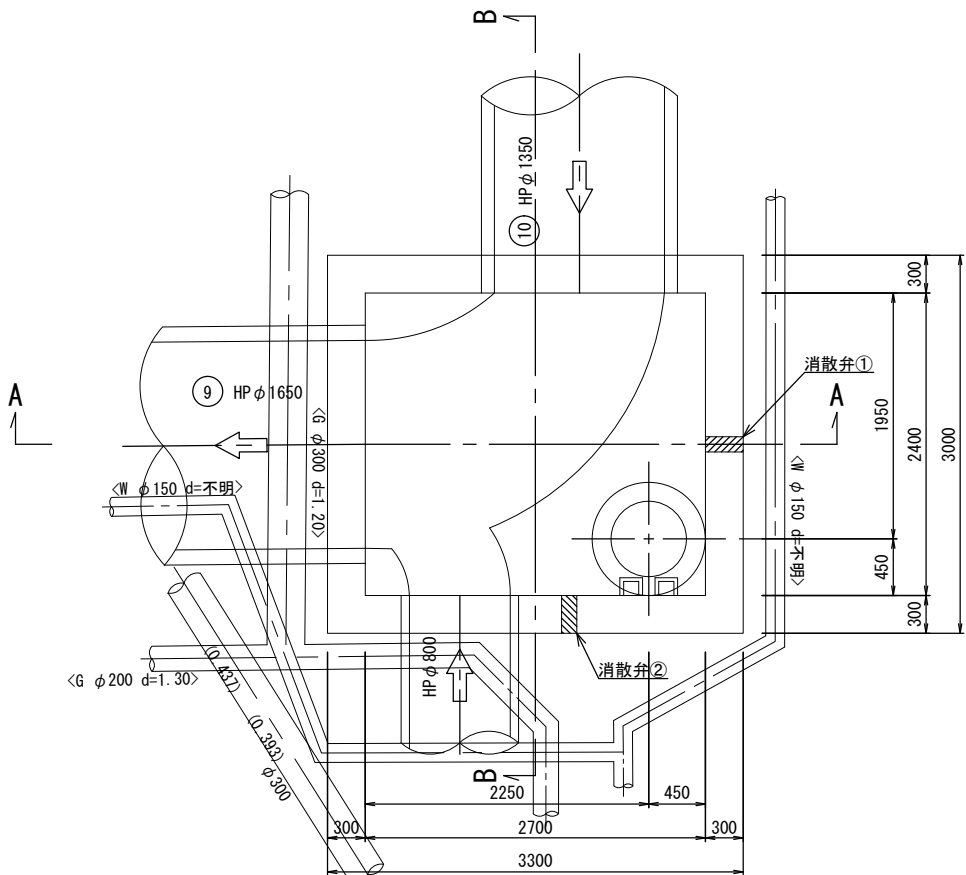
※この図面はA1サイズを原寸とする。			
工事名	令和5年度下工維持第1号 南丸之内地下下水道管更生工事		
施工箇所名	津市 南丸之内 地内		
図面名	M. 6, M. 7 マンホール 浮上防止対策工法詳細図		
縮尺	1:50	図面番号	11/15
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課		

M.10 マンホール浮上防止対策工法詳細図

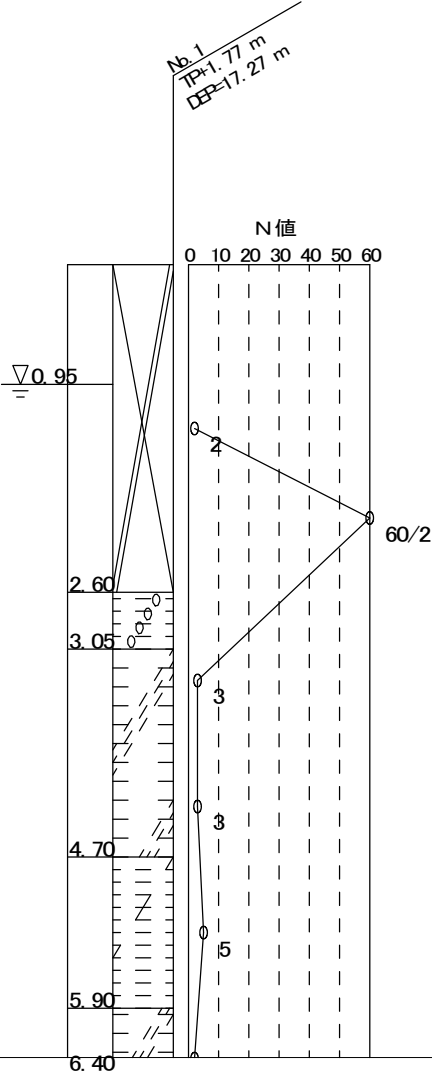
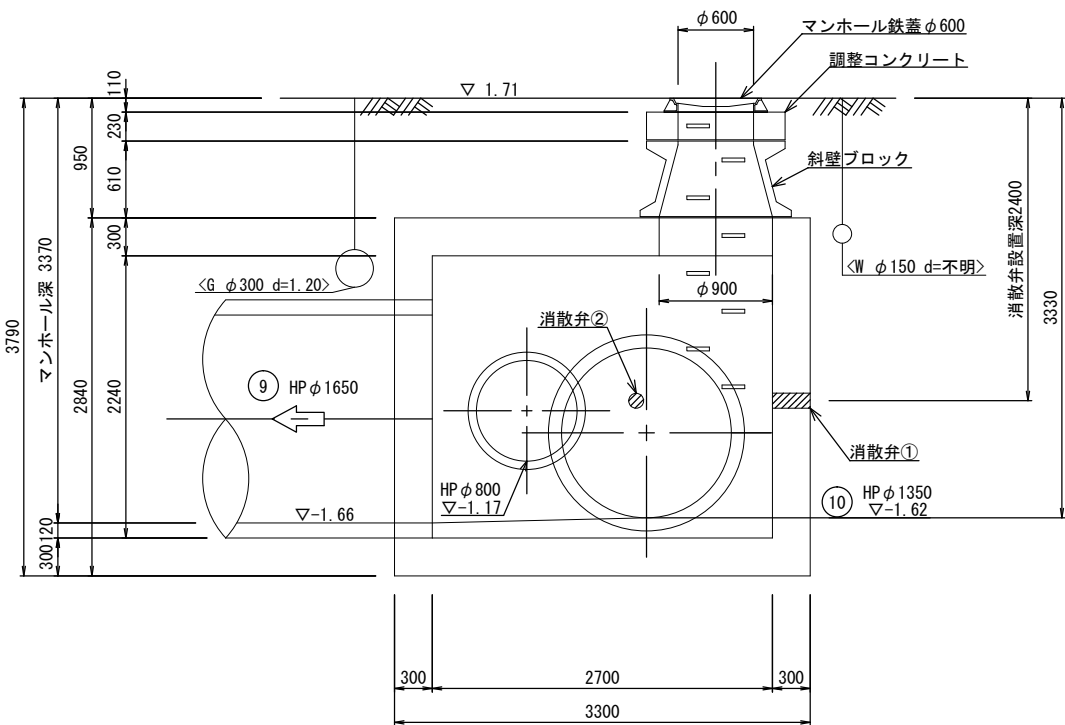
S=1:30



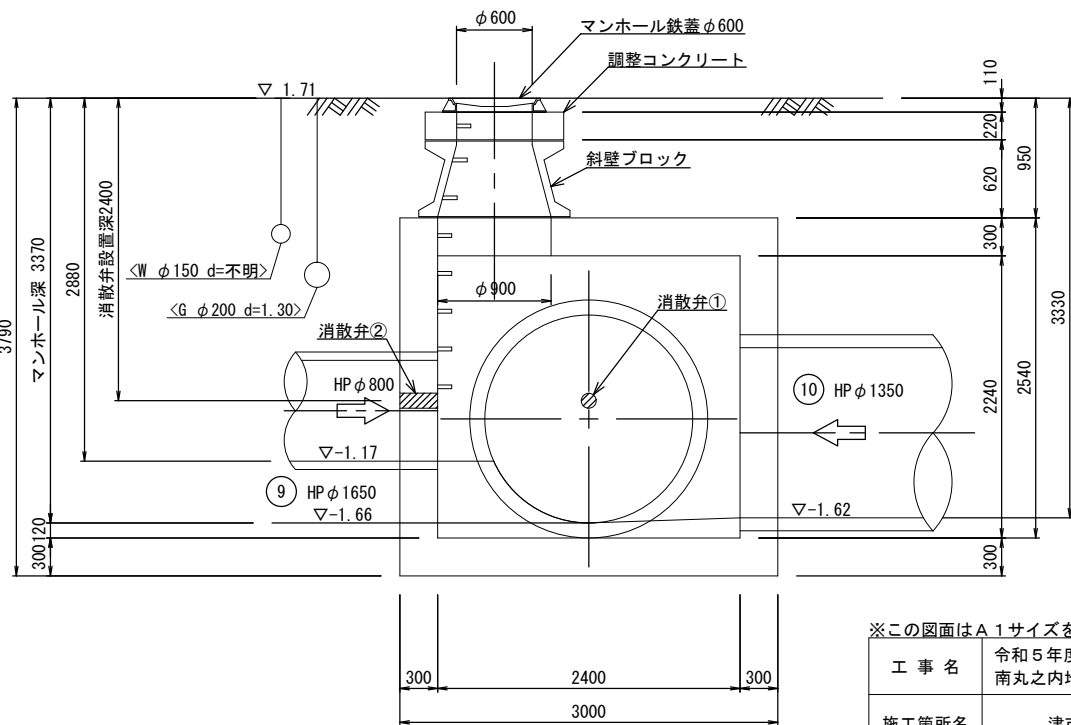
平面図



A-A断面



B-B断面



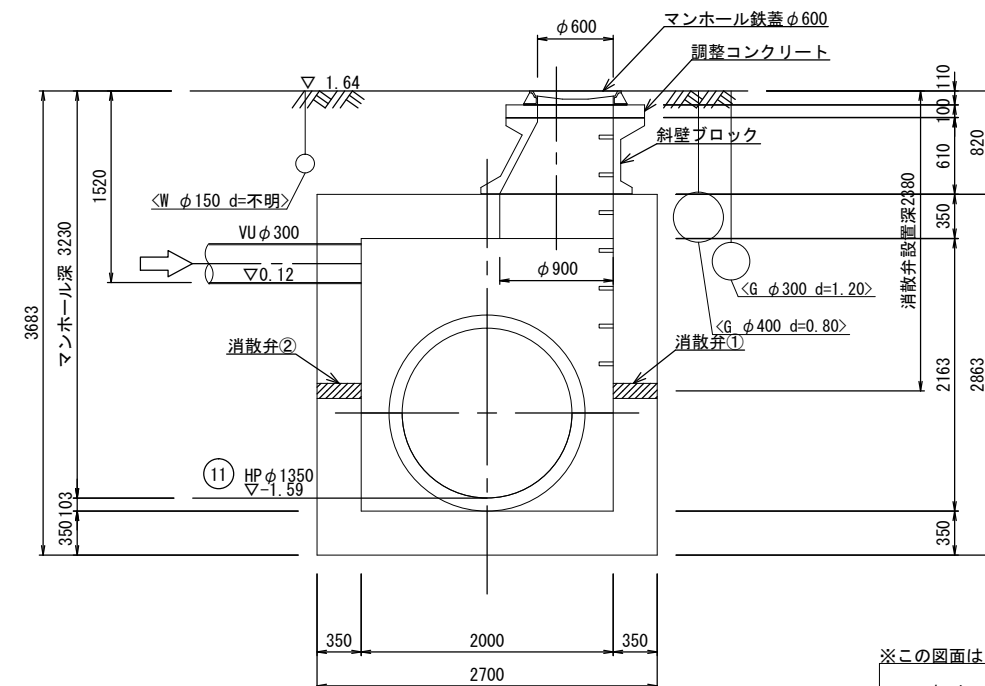
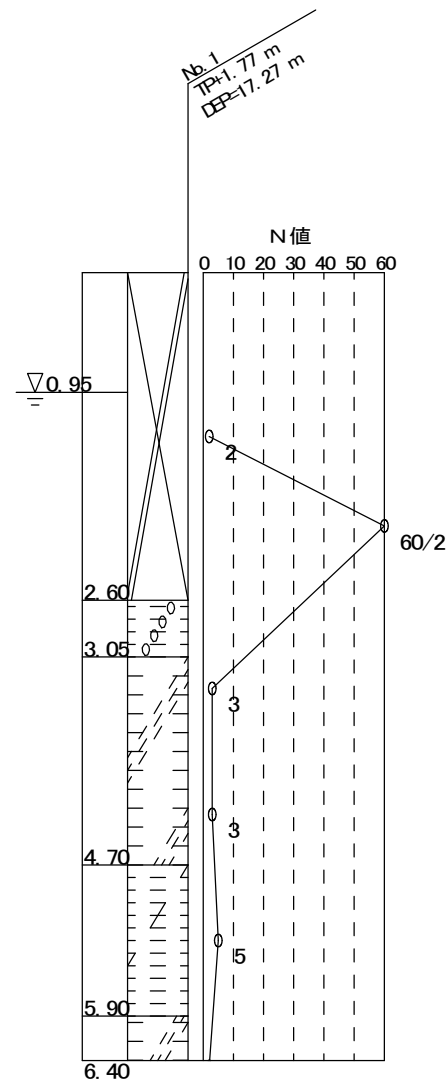
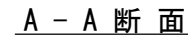
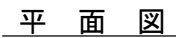
【消散弁設置の留意事項】

1. 非開削による既設人孔耐震化工法が既に施工されている人孔、あるいは、将来施工が計画されている人孔については、管外径+30cmを確保する。
2. 消散弁の1段目はインバート上部+15cmとする。
3. 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、担当者と協議する。
4. 消散弁は壁面に対し直角に設置する。

※この図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和5年度下工維持第1号 南丸之内地下下水道管更生工事		
施工箇所名	津市 南丸之内 地内		
図面名	M.10 マンホール 浮上防止対策工法詳細図		
縮尺	1:30	図面番号	12/15
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課		

S=1:30

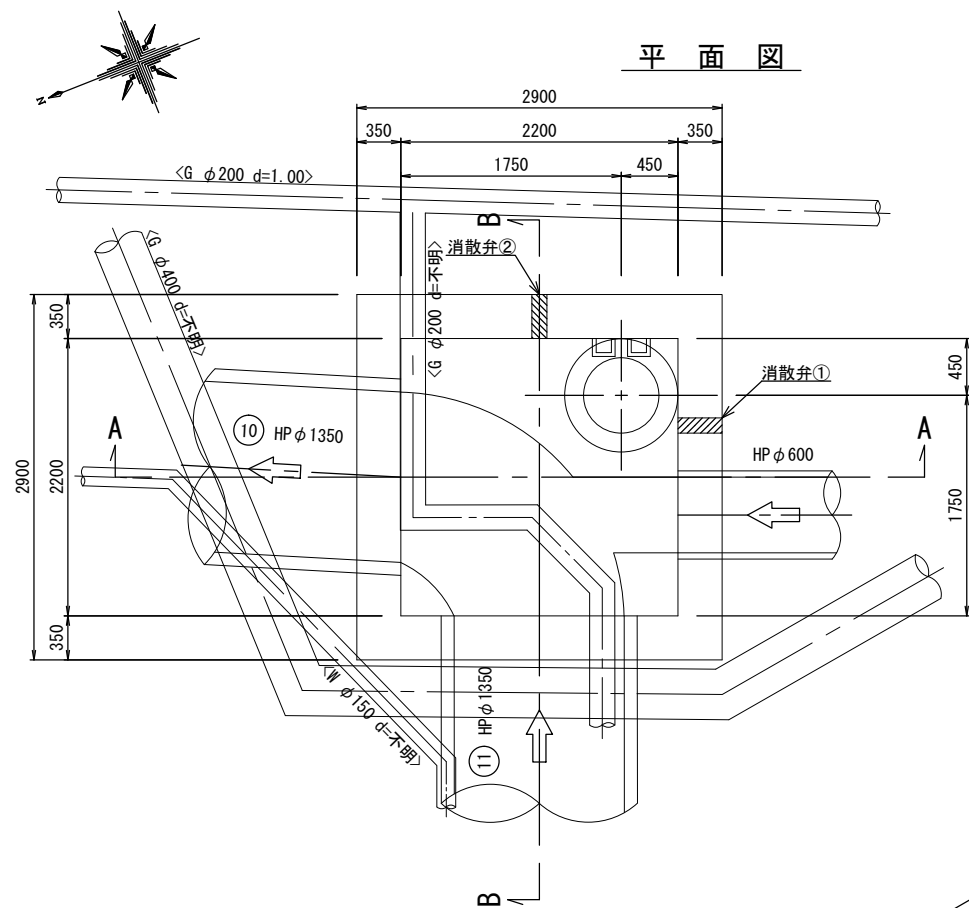


1. 非開削による既設人孔耐震化工法が既に施工されている人孔、あるいは、将来施工が計画されている人孔については、管外径と30cmを確保する。
2. 消散弁の1段目はインバート上部と15cmとする。
3. 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、担当者
と協議する。
4. 消散弁は壁面に対し直角に設置する。

※この図面はA1サイズを原図とする。			
工 事 名	令和5年度下水経補第1号 南丸之内地下下水道管更生工事		
施工箇所名	津市 南丸之内 地内		
図 面 名	M.11 マンホール 浮上防止対策工法詳細図		
縮 尺	1:30	図面番号	13/15
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課		

M.12 マンホール浮上防止対策工法詳細図

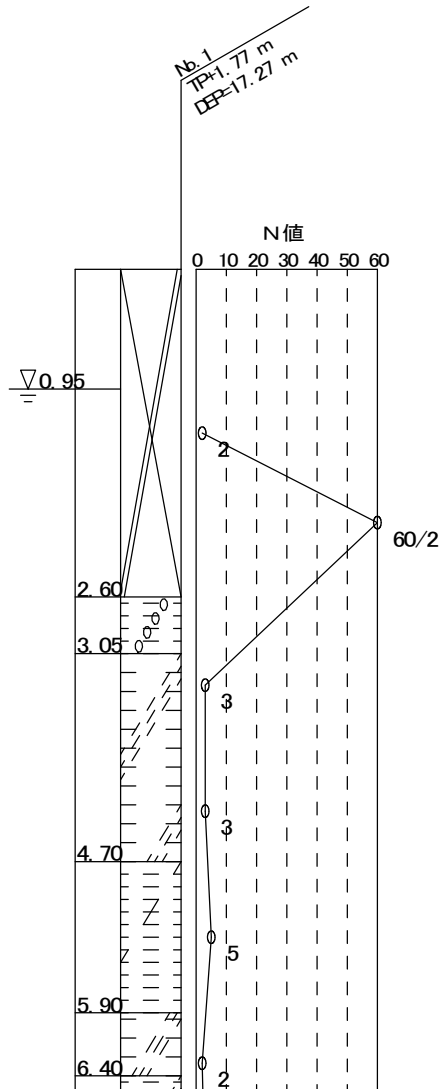
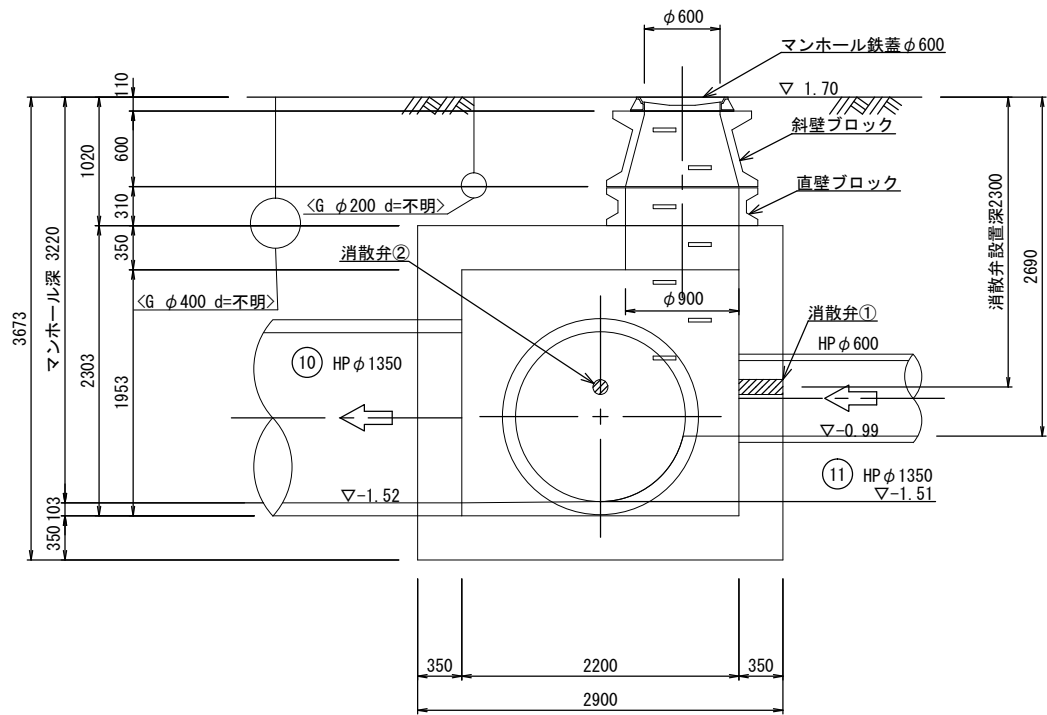
S=1:30



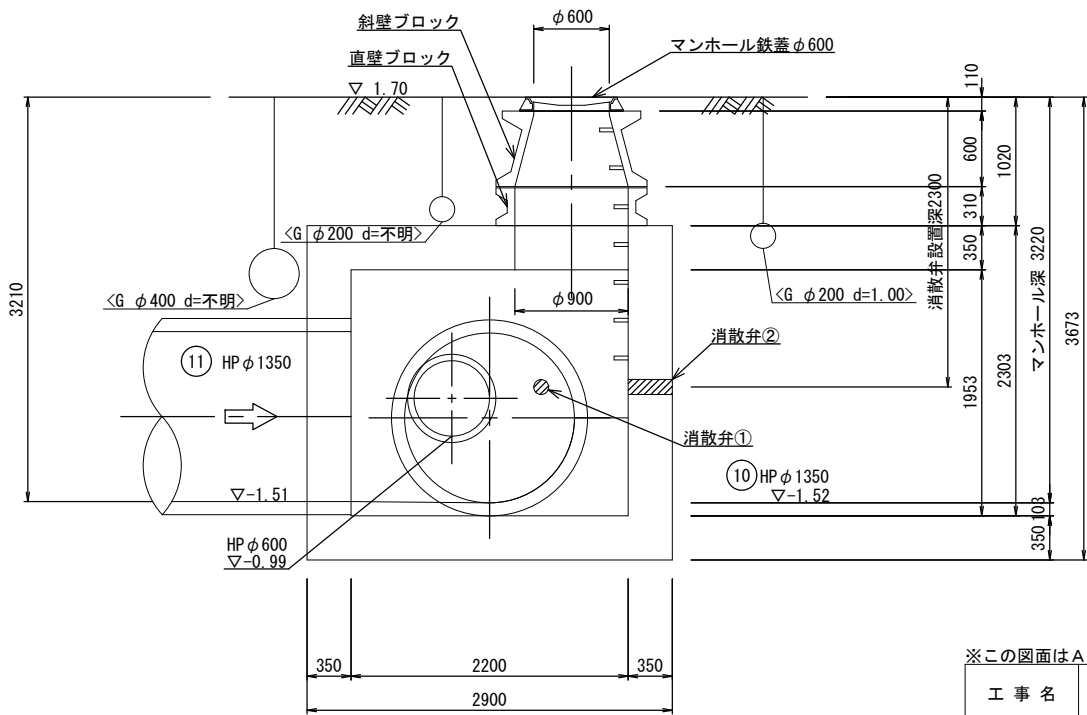
【消散弁設置の留意事項】

1. 非開削による既設人孔耐震化工法が既に施工されている人孔、あるいは、将来施工が計画されている人孔については、管外径+30cmを確保する。
2. 消散弁の1段目はインバート上部+15cmとする。
3. 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、担当者と協議する。
4. 消散弁は壁面に対し直角に設置する。

A-A断面



B-B断面



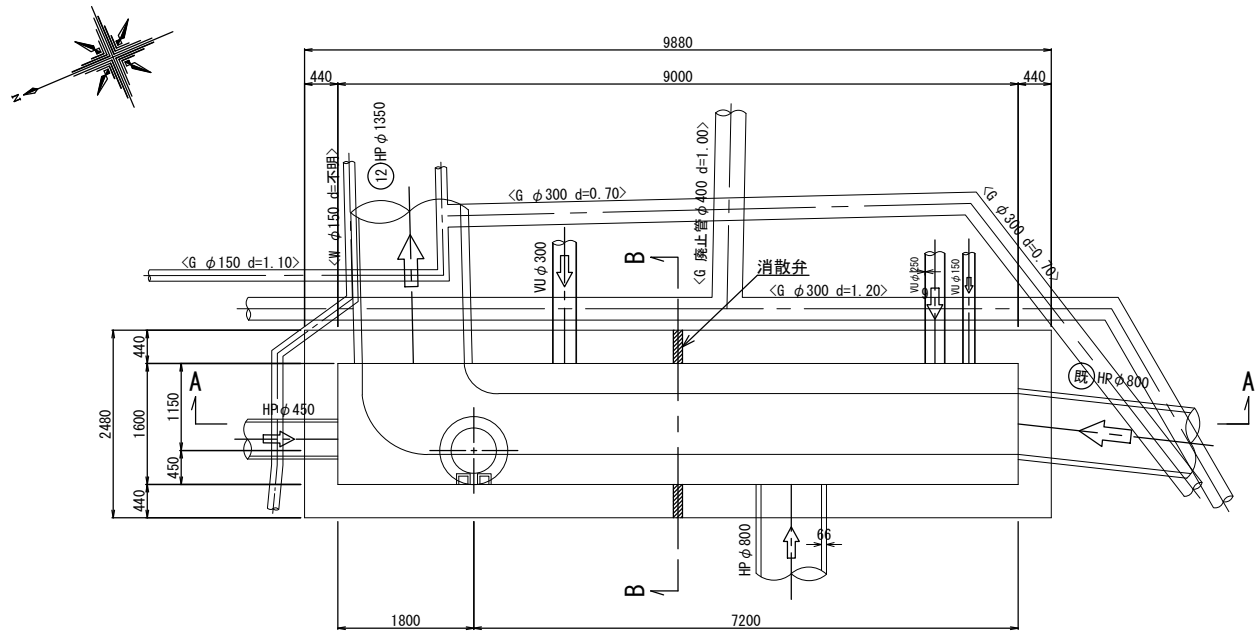
※この図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和5年度下工維持第1号 南丸之内地内下水道管更生工事		
施工箇所名	津市 南丸之内 地内		
図面名	M.12 マンホール 浮上防止対策工法詳細図		
縮尺	1:30	図面番号	14/15
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課		

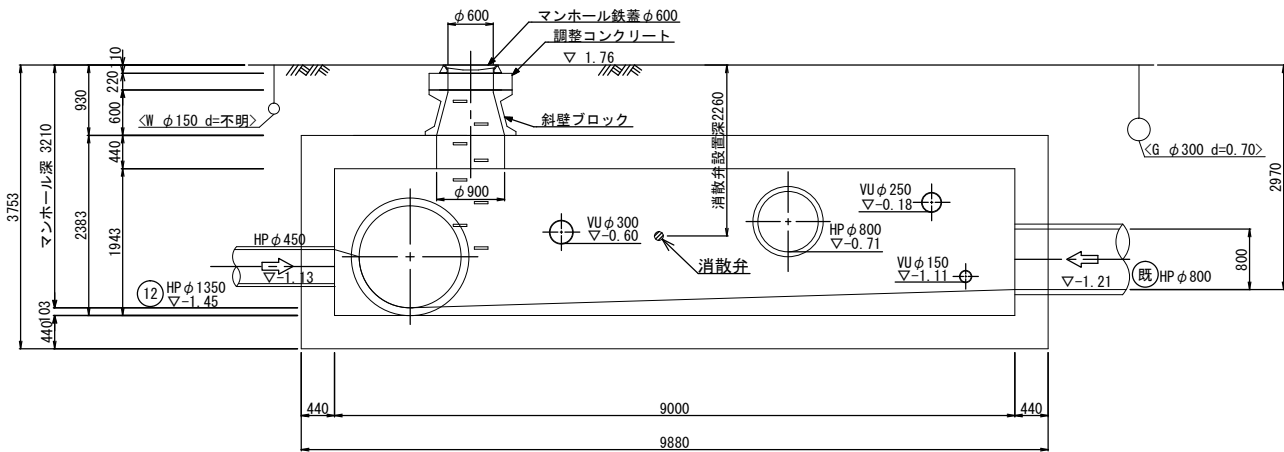
M.13 マンホール浮上防止対策工法詳細図

S=1:50

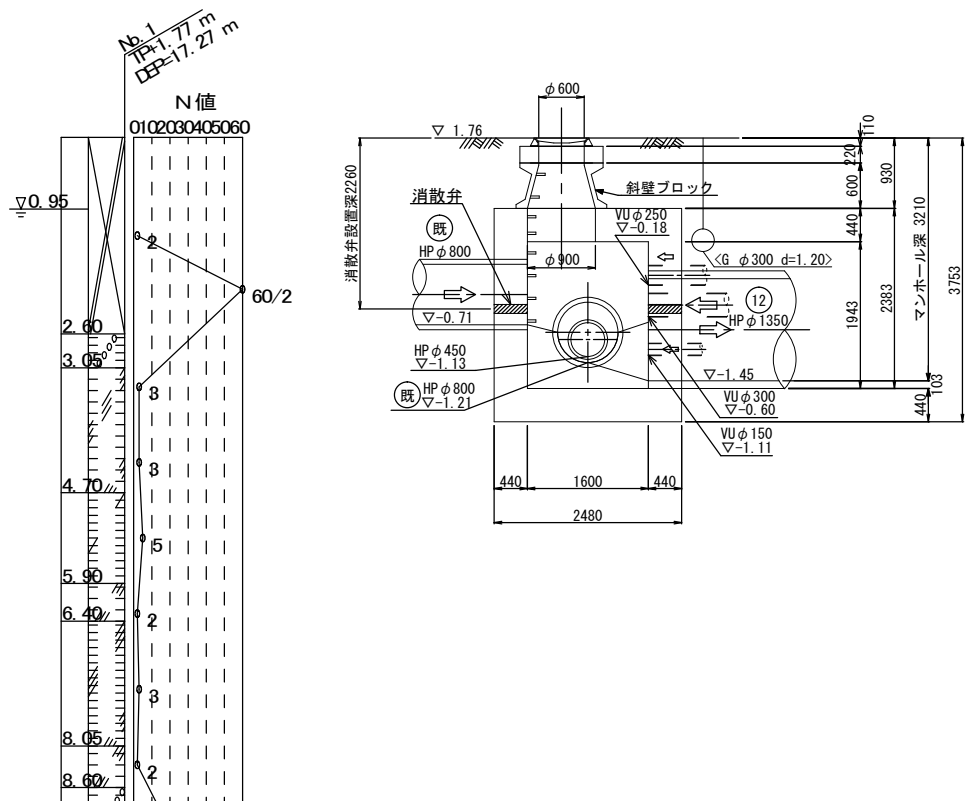
平面図



A - A 断面



B - B 断面



【消散弁設置の留意事項】

1. 非開削による既設人孔耐震化工法が既に施工されている人孔、あるいは、将来施工が計画されている人孔については、管外径+30cmを確保する。
2. 消散弁の1段目はインバート上部+15cmとする。
3. 流入・流出管の位置及び管径により消散弁が設置できない場合は、担当者と協議する。
4. 消散弁は壁面に対し直角に設置する。

※この図面はA1サイズを原寸とする。

工事名	令和5年度下工維持第1号 南丸之内地下下水道管更生工事		
施工箇所名	津市 南丸之内 地内		
図面名	M.13 マンホール 浮上防止対策工法詳細図		
縮尺	1:50	図面番号	15/15
事業所名	津市上下水道事業局下水道工務課		